

「ぎふ建設人材育成リーディング企業セミナー」

前半は弊所所長 伏屋喜雄が講演させていただき、後半はワークショップに弊所職員12名がファシリテーターとして参加させていただき、企業の皆さんと課題を共有致しました。

「岐阜新聞」7月21日付朝刊に掲載されました。



建設業界の労働環境の実態や課題について話す伏屋喜雄所長＝岐阜新聞社本社

建設業 人材育成探る

県認定企業 関係者がセミナー

建設業の若手人材確保や育成に取り組む企業を県が認定する「ぎふ建設人材育成リーディング企業」の関係者を対象にした県主催のセミナーが20日、初開催された。県内の建設業の労務担当者ら約30人がオンラインで参加し、人材育成や労働環境の改善について理解を深めた。

建設関連事業所約300社を顧客に持つ伏屋社会保険労務士事務所（岐阜市）の伏屋喜雄所長（73）が登壇。2024年4月から建設業に適用される時間外労働の上限規制に触れ、「今から週休2日制を進めておくことと適正な工期設定が大事」と述べた。

セミナー後、6グループに分かれてのワークショップもあり、各企業の課題を共有し、育成環境や魅力ある職場の在り方、女性採用率の向上などについて話し合った。

セミナーに先立ち、県技術検査課の杉山さとみ建設企業面監が、2000年から15年で県内の建設業就労者が3割以上減り、29歳以下は7割近く減少したことを紹介。「人材不足は喫緊の課題。実践的な本セミナーを今後役に立ててもらいたい」と期待を寄せた。

セミナーは全3回。伏屋所長の講義は、同課のユーザーチャンネルで配信される。（武藤直子）

セミナーの様子をご紹介します。積極的に参加していただき、充実したワークショップとなりました。

